

令和8年度第1回花巻市社会教育委員会 会議録

開催日時 令和8年7月17日（金） 午後2時00分～午後4時20分

開催場所 石鳥谷総合支所 3階 大会議室

出席者 委員出席者15名 菊池豊議長、堀合範子副議長、鈴木恵子氏、渡邊康二氏、
福盛田弘氏、伊藤正一氏、佐藤睦朗氏、菊池朋子氏、
小国朋身氏、高橋福子氏、菊池清氏、藤井保宏氏、
高橋雅美氏、高橋典人氏、渡部久美子氏
委員欠席者5名 浅沼由美子氏、小國奎馬氏、米澤充氏、松葉孝博氏、
菊池一洋氏
事務局 6名 生涯学習部 梅原部長
生涯学習課 高橋課長、菊池課長補佐、田中生涯学習係長、
吉田主査兼社会教育主事、大塚主任
説明者 8名 教育部 瀬川部長
市民生活総合相談センター 菅原所長
賢治まちづくり課 大竹課長
スポーツ振興課 奥山課長
花巻図書館 八重樫館長
花巻市総合文化財センター 佐藤所長
花巻市博物館 伊藤副館長
教育企画課 佐藤総務企画係長

報道機関 なし

傍聴者 なし

- 次 第 1 開会
2 あいさつ
3 議題
（1）令和9年度の生涯学習・社会教育事業について
（2）その他
4 その他
5 閉会

1 開会 （開会 午後2時00分）

事務局（菊池生涯 本日はお忙しいなかお集まりいただきまして、誠にありがとう
学習課長補佐） ございます。開会に先立ちまして、本会議の成立についてご報告
をいたします。

まだ、会場に到着されていない委員もいらっしゃいますが、本日欠席の報告をいただいております委員は、名簿順で申し上げますと7番の小國奎馬委員、11番の松葉委員、14番の菊池委員の3名です。花巻市社会教育委員会会議運営規則第7条の規定により、本会議は委員の半数以上の出席により成立いたしますが、現在20名のうち15名の方にご出席をいただいておりますことから、本会議が成立いたしますことをご報告いたします。

また、今年度は社会教育委員の改選となっております。改めて、委員をお引き受けいただきましたことにお礼を申し上げます。大変ありがとうございます。なお、委嘱状でございますが、本来であればお1人ずつお渡しするところでございますが、座席への配置で交付に代えさせていただきます。何卒ご了承くださいますようお願いいたします。

続きまして、資料の確認をしたいと思います。事前に郵送でお送りしておりましたけれども、お手元に届いておりましたでしょうか。そちらのお送りしました資料と本日配布した資料もございます。お渡ししました表紙と議題に使う資料ですが、A3横長の資料1『第3期花巻市教育振興基本計画／「3生涯学習の推進」／主な事業の実施状況』と左上に書かれたものを使います。皆様でございますでしょうか。その他の資料につきましては、議題の後の「4 その他」で説明をしたいと思います。

それでは、ただいまから令和8年度第1回花巻市社会教育委員会会議を開会いたします。はじめに、梅原生涯学習部長よりごあいさつ申し上げます。

2 あいさつ

事務局（梅原生涯
学習部長）

生涯学習部長の梅原でございます。昨年度まで生涯学習課長としてこの会議を担当させていただいておりましたので、委員の皆様には多大なるご支援をいただきまいりました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。本日はお忙しいところ、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。また、今回は社会教育委員をお引き受けいただきましてありがとうございます。感謝申し上げます。

委員の皆様には再任いただいた方、そして今回新任された方といらっしゃいますが、皆様ご存じのとおり社会教育は学校教育以外の社会や地域などで行われる教育活動であり、学校教育と車の両輪のように補完し合っているわけでございますが、花巻市では社会教育については教育委員会からの補助執行という形で、市長部局において同じように教育委員会から事務委任されているスポーツや芸術文化とあわせて生涯学習部で事業を行っております。近年、この生涯学習はツールの多様化や部活動の地域展開など、

状況も大きく変化しているわけでございますけれども、生涯学習の理念である「市民が生涯にわたり学習できる環境」、「いつでも・どこでも・いつまでも」学習できる、この「いつでも・どこでも・いつまでも」というのは、今年度からの5年間の第2期花巻市スポーツ推進計画でも目指す将来像としておりますが、そういった環境づくりを教育委員会と連携を密にしながら取り組んでいるところでございます。

本日は、令和8年度の事業計画を説明しながら、来年度令和9年度の事業についてを議題としておりますが、委員の皆様から様々なご意見を伺い、今後の事業につなげてまいりたいと考えておりますので、忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員紹介

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

ありがとうございました。

続きまして、委員の皆様のご紹介でございます。

お手元の名簿をご覧いただきたいと思います。大変恐縮でございますが、マイクをお持ちします。新しい委員の皆様にもご出席いただいておりますので、名簿順にお名前・所属など自己紹介をお願いできればと思います。

（委員紹介→説明職員、事務局紹介）

委員の改選に伴いまして、議長、副議長の選出を行いたいと思います。議長、副議長の選出につきましては花巻市社会教育委員運営規則第6条の規定により委員の互選となっております。さっそくではございますが、委員の皆様から互選はございませんでしょうか。

（互選なし）

それでは、事務局案を提示してもよろしいでしょうか。

（異議なし）

はい、ありがとうございます。それでは、事務局案を提示させていただきます。

議長に菊池豊委員、それから副議長に堀合範子委員をお願いしたいと思います但皆様いかがでしょうか。

（異議なし）

それでは、菊池委員それから堀合委員は、議長席、副議長席へご移動をお願いいたします。

議長席、副議長席に着いていただきましたので一言ずつごあいさついただければと思います。はじめに菊池議長からお願いいたします。

菊池豊議長

昨年に引き続いて議長ということですので、いろいろご意見をいただきながら進めてまいりたいと思います。よろしくお願

ます。

堀合副議長

私も引き続いて副議長を務めさせていただきます、堀合です。

この場に来ると皆さんのいろいろな意見、とても私自身が勉強になっております。今日もぜひそれぞれの立場でたくさんご意見を出していただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

4 議題

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

はい、ありがとうございます。

ここからの進行につきましては、議長、副議長にお願いしたいと存じます。はじめに、会議の公開基準に基づき、会議の公開、非公開について確認いただいた後、議事進行をお願いいたします。

菊池豊議長

それでは、花巻市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、本会議を公開することとしてよろしいでしょうか。

（異議なし）

公開することで進めさせていただきます。

さっそく議事に入りたいと思います。令和9年度の生涯学習・社会教育の事業について、資料1に記載されている事業、令和7年度実績や令和8年度計画については、昨年度3月に行った社会教育委員会会議において説明が行われていますが、新たに委員になられた方もおいでですので、事務局には令和8年度の事業計画部分を中心に、前回の説明から修正された部分や新しく追加された事項などについて説明をお願いしたいと思います。進行については、まず1つ目が『生涯学習の推進』について、2つ目が『スポーツの振興』について、3つ目が『芸術文化の振興』と3つに分けてご説明いただきたいと思います。それでは、最初に生涯学習の推進から説明をお願いします。

事務局（高橋生涯
学習課長）

生涯学習課長の高橋でございます。

私から資料1の生涯学習・社会教育事業について記載されている令和8年度事業計画部分を中心に、前回の説明から修正された部分や新たに追加された事項をご説明させていただきたいと思います。大変恐縮ですが着座にて失礼させていただきます。

資料1をご覧ください。

1つ目の『生涯学習の推進』「1. 自主的活動の推進」についてご説明させていただきます。オレンジで色塗りした部分を中心に説明させていただきますので、事業成果等の詳細については資料をご確認いただければと思います。①生涯学習講座開催事業ですが、生涯学習講座の充実を図るとともに多様化する市民のニーズに合った学習機会の提供として、引き続きオンライン講座等の開催を行いたいと考えております。

また、未就学児から中学生とその家族等の他地域で子育てに関わりたい方を対象に、子育てに関する情報提供や家庭教育に対する関心の高いテーマを取り上げた家庭教育支援講座を開催いたします。

次に②生涯学習活動支援事業ですが、2ページ部分中段の令和8年度の重点を中心にご説明させていただきます。生涯学習講師の登録への声がけに努めるとともに、ふれあい出前講座の活用をはじめ生涯学習に関する多様な情報発信について、より幅広く市民に対して行う方法を検討しております。

また、市民の自主的な生涯学習活動を支援し、活動の成果を発表する場として、生涯学習フェアを開催し、障がいの有無にかかわらず、誰でも取り組むことができる生涯学習体験コーナーを設置する予定としております。

八重樫花巻図書館
長

はい、花巻図書館館長の八重樫と申します。

私から③視聴覚教育推進事業について説明させていただきます。着座にて失礼します。こちらにつきましては、視聴覚資料を活用した生涯学習活動を促進するための事業であります。資料オレンジの色塗り部分にも書いてございますが、令和7年度から大きく変わったところはありません。引き続き映画会等の事業を続けて実施していくほか、積極的に視聴覚教育ライブラリーの情報提供を行い、利用促進に努めてまいりたいと考えてございます。

事務局（高橋生涯
学習課長）

続きまして、3ページ目上段になります。④生涯学習施設整備事業についてです。生涯学習施設整備事業では、生涯学園都市会館（まなび学園）の情報通信機器設置業務を実施するほか、古川地区集落センターで耐震改修工事、石鳥谷生涯学習会館で講堂の照明器具等改修工事实施計画業務を実施する計画でございます。

八重樫花巻図書館
長

⑤読書活動推進事業についてご説明いたします。こちらにつきましては、子どもたちが読書に親しむための環境づくりや、市民の読書への関心を高めて図書館利用の促進につなげていこうという事業でございます。こちらにつきましても、昨年度から大きな変更点等はありません。引き続きおはなし会や読書スキルアップ講座等の事業展開を図ってまいります。そして、図書館の利用促進に努めてまいりたいと考えてございます。

また、「読書おもしろ帳」ということで読書したものを記帳できるものも活用して、読書への関心を高める事業展開を図ってまいりたいと考えてございます。

事務局（高橋生涯
学習課長）

続きまして、⑥図書館整備事業でございますが、図書館整備室の室長を兼ねておりますので、私から説明させていただきたいと思います。図書館整備事業につきましては令和7年度から継続い

たしまして、新花巻図書館整備基本・実施設計業務を実施しております。

また、有識者からの専門的なアドバイスを得ながら、資料購入と司書育成に努めるとともに、先進図書館の視察や展示会参加によって、最新の運営事例やシステム情報を収集させていただいております。建設用地取得に向けては、必要な測量や調査を今年度実施する予定でございます。

めくっていただき、4 ページ目になります。4 ページ目中段の「2. 青少年健全育成の推進」です。「はなまき！おもしろ探検隊！」ではこれまでと同様に現状や特性に応じたキャンプ等の体験学習を行うほか、これまで高校生対象としてきたボランティアリーダーについて中学生まで対象を拡大し実施しております。

また、部活動に代わる活動機会として、市内中学生を対象に様々な体験講座、レクやものづくりなど実施したいと考えております。

20 歳のつどいにつきましては、引き続き会場を文化会館として、式典と実行委員会による記念行事の開催形式で行う予定としております。

菅原市民生活総合
相談センター所長

それでは、4 ページ下段になりますが生涯学習に関連する事業ということで、「2. 青少年健全育成の推進」の少年センターの担当につきまして、市民生活総合相談センター所長の菅原から説明させていただきます。

少年の非行防止及び健全な育成に関しまして、関係機関・関係団体等との連絡協調を図り、効果的な活動を推進するため少年センターを設置して少年の非行防止に努めているところでございます。令和8年度事業につきまして、変更点等はございません。

少年補導委員による街頭活動ということで、大規模な店舗など定期的に巡回しまして、青少年の非行防止に努めるということで、街頭活動の継続実施を重点としております。

事務局（高橋生涯
学習課長）

続きまして、資料をめくって5 ページ目になります。私は国際交流室の室長も兼ねておりますので、私から、説明させていただきます。

「3. 国際化の推進」という部分になります。①国際都市推進事業につきましては、引き続き国際フェアや市民語学講座、多文化共生サロンや日本語講座等の事業を実施する予定です。

②国際姉妹都市等交流推進事業は、青少年の海外派遣や海外からの青少年受け入れによる交流事業を行うほか、10 月にラットランド市との姉妹都市提携 40 周年記念事業に参加予定としております。

③国内友好都市等交流推進事業は、7 月に平塚市民ツアーを行

ったほか、8月に小学生を対象とした自然体験交流事業を実施する予定としております。

以上、生涯学習に関する事業となります。よろしくお願いいたします。

菊池豊議長

はい、それではここまでのところで委員の皆さんのご意見や質問等があればお聞きしたいと思います。なお、資料右側に令和9年度に向けたご意見という欄がありますが、これは社会教育委員会会議における委員提案について、ぜひ次年度に生かせるような、実現できるような形で取り上げてほしいということでこの欄を設けています。来年度の予算措置が必要だというようなものに対して、ご意見をいただきたいと思います。

伊藤委員

私自身市の生涯学習講師をやらせていただいているのですが、自分以外の（講師の方のマッチング状況等）はほとんど正直わかりません。今、（件数の）数字を見てもピンとくるところがないのですが、生涯学習に一般の方々が講師として参加、参画するようになるその流れ自体、発展的な方向に向かっている。単純に言えば、講師の増え方もそうだし、それから受講回数も多くなったということでしょうか。質問です。

事務局（高橋生涯学習課長）

ふれあい出前講座につきましては、様々な講師の皆様にご登録いただいたことによりまして、市民のニーズにある程度対応できるようになったということ。またそれに伴い、受講人数は増えているということで、一定の効果を出せていると考えております。

菊池豊議長

はい、よろしいですか。ほかには。

前回会議でも申し上げたのですが、資料2ページ目の真ん中の（実績や重点の記載）について生涯学習としてはある意味理想的と思われる。市民の自主的な生涯学習活動を支援し、活動の成果を発表する場として「生涯学習フェア」を開催する。学習した成果を発表するというのが、ある意味生涯学習にとって大事と言われているので、非常にいい方向だろうと私は考えております。

高橋福子委員

施策の領域と取り組みに「（2）自発的・自主的学習活動の支援と相談体制の充実」と書かれている。たぶん、この表の②生涯学習活動支援事業がそこに該当するのだと思います。ただ、成果としては「どういう支援をしたか」や「どういう相談体制だったか」はまったく記載されていない。例えば、さっきの伊藤委員の質問のように、ふれあい出前講座の講師マッチングをしてあげたとか、そういったことが含まれるのか伺いたいです。

また、図書館整備事業で司書育成と書いてあるのですけれども、具体的にはどういうふうになされますか。

菊池豊議長

それでは、2点に対して回答をお願いいたします。

事務局（高橋生涯
学習課長）

1つ目のマッチング等しているかという部分につきましては、情報を提供し希望を確認させていただいておりますが、いわゆるマッチングというところまでまだ行きついていないと認識しております。ご意見として承って、これから進めることができるよう検討してまいりたいと思います。

2つ目の図書館整備事業の司書育成につきましては、図書館司書、実は図書館司書の資格を有している者もおりますが、司書の活動内容がだいぶ多岐にわたっております。例えばレファレンスの向上や市民学習の提供とか、いろいろな司書の能力が広がってきております。新しい図書館ではいろいろな活動に対応できるよう司書育成をしていきたいと考えております。

菊池豊議長

司書の育成について。今、司書数としてはだいたい間に合っているのですか。

事務局（高橋生涯
学習課長）

新図書館につきましては、先ほどご説明させていただきましたとおり、現在設計業務を進めているなかである程度人数の部分は試算しておりますが、何人というところまではまだ追いついていない状況でございます。

ただ、今回社会教育委員会議でもご説明させていただきましたとおり、ある程度大きな中央図書館としての機能を持ちますので、一定数の司書の確保が必要と考えております。

菊池豊議長

それでは、よろしいですか。

高橋福子委員

具体的にどうやって育成していくのか。

事務局（高橋生涯
学習課長）

具体的な育成という部分につきましては、富士大学の早川光彦教授やぎふメディアコスモスの元館長で、いわて子どもの森の元館長である吉成信夫氏に支援をしていただいております。そういった方々にアドバイザーをしていただきながら、司書を育成しようと考えております。

もう少し言うと、富士大学の早川教授には図書館情報学の司書としての基本的な部分、レファレンス能力や本の選び方、選書能力の向上を期待しております。

先ほど申しました吉成氏につきましては、ぎふメディアコスモスはNHK“クローズアップ現代”などで取り上げられた新しい図書館、交流の場としての図書館の形をつくっております。そのなかで、司書にどのような能力が必要なのかを話し合いながら、必要な能力を向上させていただきたい。講座やアドバイス、実際にセミナーやワークショップ等を開きながら進めていきたいと考えております。

菊池豊議長

それでは、次にどなたか。

小国委員

興味本位で何うのですが、ふれあい出前講座は公共編と講師編の2通りあるのですが、このなかの一番人気の（メニュー）は何

でしょう。

事務局（高橋生涯
学習課長）

公共編で言いますと、最近は専ら防災、自主防災に関する講座が多くなっていると感じております。講師編につきましては、本当に多岐にわたり、焼き物や運動、編み物や手芸等と多岐にわたっているので、どれがということではなくある程度まんべんなくご利用いただいているかと思います。公共編につきましては、どちらかというと防災、あと介護に関する講座が人気と感じております。

菊池豊議長

よろしいですか。それでは、ほかに。質問が多いですが、ご意見もあわせていただければ。今、8年度計画については進行中なのでですね。来年度に向けてということで。

高橋福子委員

前回会議で、まなび学園祭と防災事業（防災フェスティバル）の連携を目指していきたいとおっしゃったように思いますが、今年防災フェスティバルは9月にすでに開催のようです。でも、ふれあい出前講座で防災に関することが人気ということは、まなび学園祭でも防災コーナーのようなものに取り組めるよう、新年度計画していただきたい。たくさん人も来るので、防災フェスティバルとの連携というのはいかがでしょうか。

事務局（高橋生涯
学習課長）

まなび学園祭につきまして、今年度防災コーナーは準備していると思いますが、来年度に向けて（防災フェスティバル）と一緒にやったらどうかというご意見だと思いますので検討させていただければと思います。

菊池豊議長
藤井委員

はい、ほかにございますか。藤井委員どうでしょうか。

前回会議と違うところという話でしたので、出席しておらずわからない部分が多かったのですけれども、資料を見ていていろいろ多岐にわたった生涯学習に取り組まれていると思います。

それで、私が関係するところでは4ページの青少年関連団体支援のところでは「はなまき！おもしろ探検隊」のような事業を実施されています。これについて、外郭団体あるいは各種団体としてガールスカウトとか発明クラブがある。私が担当している花巻市青少年育成市民会議等もあるのですが、そのような活動団体がどのような活動をしているのか少し広めていただければ。市のほうで、外郭団体や各種団体の活動を少し周知していただければと思います。そして、その活動が市の教育振興基本計画の何につながっているのか。市民活動が何につながっているのかということまで、関連付けて少しでも広まればと思っているのですが。今後、実際に展開している団体の活動も資料等のなかに含めていただければと思っております。以上です。

菊池豊議長
事務局（梅原生涯

はい、これについては。

少年少女発明クラブや花巻市青少年育成市民会議の総会には私

学習部長)

も参加させていただいております、発明クラブも小学生の学年に応じて、いろいろなものを1年間通して作りながら発表するなど活発な活動をされております。そういった活動を社会教育委員会会議の場でご報告できるような、そういった仕組みを取り入れていきたいと思います。ご意見ありがとうございます。

菊池豊議長
福盛田委員

それでは、ほかによろしいですか。

資料3ページのほうでもいいですか。八重樫花巻図書館長にお伺いしたいのが、図書館における本の購入についてです。市内4館で1冊購入するのか、1冊ずつ購入するのか。この間単行本の予約をお願いして借りることにして3月に予約したら7月はじめに「あなたの番ですよ」となって（図書館に）借りにいきました。その本の中には「あなたの後に22人が待っています」というようなことが書かれているのですよね。4館で1冊購入なのか、1冊ずつ購入なのか。ベストセラーの本だったので、22番目の人は前の人が10日ずつ借りるとすれば、220日も待たなければいけない。どのように購入されているのか伺います。

八重樫花巻図書館
長

やはり人気のある本は予約がたくさん入っており、ご不便をおかけしたことをまずお詫び申し上げます。4館で必ず1冊というものではなく、人気の状態等も見ても複数冊購入する場合も当然ございますけれども、やはりどうしても人気のある本は集中してしまい、10人待ち、20人待ちということも多々ございます。そうになると、今お話があったとおり約200日かかるのかということもあつたりしてご不便おかけするのですけれども、そういったところも踏まえながら図書の購入方法、あまり多く買いすぎてもいけないというところもありますが、バランスも見ながら図書購入について考えていきたいと思います。

福盛田委員
菊池豊議長
藤井委員

了解いたしました。

図書の貸し出し、購入についてでした。ほかには。

生涯学習の関係で、地域生涯学習担当者研修を開催されております。そのなかで生涯学習課が中心になって、花巻市内のコミュニティ会議が主催している地域の生涯学習事業について指導というか、横のつながりを持つ機会を持っていたいただいていると聞いております。27のコミュニティ会議が市内にあるということで、その方々が独自で生涯学習活動を進めております。いろいろな学習活動をどのような形で行っていくか悩んでいると思います。研修の取り組みのなかで生涯学習課が中心となって、その方々の横のつながり持つ、あるいは事業実施に向けて考えるべきことを指導、一緒に考えていると伺っております。今後も続けていただいて、花巻市内のすべての地域で「地域がまわる」、地域の生涯学習活動が展開されることが重要と思いますので、広がりを持って

各地域で高い水準の事業を実施できるという点からも今後続けて
いっていただきたい。参考として意見を申し述べさせていただきます
ました。

菊池豊議長
伊藤委員

ほかにはないでしょうか。どうぞ。

別紙1「令和8年度生涯学習事業」の一覧表について、今の関
連でお尋ねしたいのですが、すべてのコミュニティ会議でそうい
う取り組みをしていることは本当に大事だと思うのですが、
も、資料だけ見ていると全部生涯学習に取り組んでいる事業とし
て報告されているわけではない。これは市内全部のコミュニティ
会議分ですか。多かったり少なかったりする部分がある。そのよ
うな感じなのでしょうか。評価として、多いのか少ないのか。

事務局（高橋生涯
学習課長）

こちらの表につきましては、生涯学習課でどのような生涯学習
に関連する事業をコミュニティ会議でやっていたかというのを
まず把握させていただきたいと思い作成しました。そのなかで、
お話があったとおり、実施件数や規模には違いが出てまいりま
す。先ほど藤井委員がおっしゃったような活動支援を含め、ある
程度押し上げていければと考えております。目標を持つための基
礎資料として、コミュニティ会議が現在どのような事業を行って
いるのかを情報収集しているところとご認識いただければと思います。

菊池豊議長
堀合副議長

はい。それではほかにございませんか。

それでは、なければ次の『スポーツの振興』、1ページから説明
をお願いいたします。

奥山スポーツ振興
課長

スポーツ振興課の奥山です。着座にて説明させていただきます。
資料については、『スポーツの振興』と書いてある紙の両面になり
ます。順次説明をさせていただきますが、前回からの修正部分を
中心に説明をさせていただきます。

「1. 生涯スポーツの推進」①地域スポーツ推進事業について
は、各地域における生涯スポーツの推進を図るため、スポーツ推
進委員などを配置しまして活動を支援するというものと、市民が
スポーツに親しむ機会を提供するというのを目的に実施してい
る事業となっております。このなかで、スポーツ推進委員と地
域スポーツ普及員は本年4月に改選をしております。

また、早起きマラソンについては、人口減少やクマの出没への
対策といった周辺環境の変化への対応が大変難しい状況ではござ
いますが、令和7年度に50周年の記念事業を行いまして、体力づ
くりや子どもたちの早起き、朝食の習慣化などに寄与している点
などを踏まえまして、各会場において引き続き無理のない範囲で
継続をお願いしているところでございます。

続きまして、②地域スポーツ支援事業につきましては、前回か
らの変更はございませんが、スポーツ団体等に補助金を交付いた

しまして、地域あるいは生涯スポーツの振興を図っているものとなっております。

次に、「２．競技スポーツの推進」①競技スポーツ支援事業につきましては、文言の一部を修正させていただいております。競技や指導のレベル向上を図るため、大会出場者への支援あるいはスポーツ大会の開催支援を目的に実施をしている事業となっております。令和８年度におきましても、全国大会等出場支援、県民スポーツ大会出場支援、各種スポーツ大会の開催支援を行ってまいります。なお、本年４月２６日に開催いたしました第１４回イーハトーブ花巻・ハーフマラソン大会では定員３,０００名としておりましたが、定員を超える申し込みをいただき無事開催することができました。

「３．大規模スポーツ大会の開催」裏面になりますけれども、①スポーツ大会・合宿誘致推進事業につきましては交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供するためスポーツ大会あるいはスポーツ合宿の誘致を図ることを目的に実施している事業となっております。スポーツコンベンションビューローが主体となり合宿誘致に努めているところでありまして、令和８年度は田瀬湖におけるローイング日本代表の合宿、今まさに７月１３日から２９日まで合宿中というところです。そのほかに野球部の合宿として東京経済大学、高千穂大学、大正大学の３件のほか国士舘大学の剣道部、市の補助金対象ではございませんが東北大学バドミントン部の計６件を予定しております。

続きまして、中段④となっておりますが正しくは②スポーツ施設環境整備事業となりますので訂正をお願いしたいと思います。こちらにつきましては、スポーツ施設の快適な利用環境を整えるということで、計画的に施設の整備・改修を行っているものでございます。花巻市は非常に多くのスポーツ施設を有しておりまして、県内でもかなりスポーツ施設の割合が多く整備をしてもなかなか追いつかないというのが実際の状況でございますが、限られた予算の中で令和８年度も順次資料記載のとおり工事等を進めてまいります。なお、追記している赤字内容につきましては、先般の６月議会において補正予算を決定いただきました。鉛温泉スキー場の高圧受変電設備統合、第１・２リフトのキュービクルを統合するという事業で８年度から９年度にかけて、８年度は債務負担としては０円なのですが９年度に１億３,４２０万円ほどの債務負担を見込んでおります。

そのほか、高村ドームの屋根の改修工事に係る実施設計、日居城野運動公園陸上競技場改修工事に係る実施設計、笹間野球場の高圧受電設備・キュービクル更新を予定しておりますほか、大迫

野球場のトイレ改修工事の実施設計及び改修工事、こちら 12 月補正で改修の予算計上を予定しております。

最後に一番下の部分ですが、③女子野球タウン推進事業につきましては、本市が一昨年 11 月全日本女子野球連盟から東北で初となる女子野球タウンに認定されたことを受けまして、令和 7 年度から国の交付金を活用しながら進めている事業となっております。主な事業計画としては、女子野球大会の開催の支援や技術の普及推進、野球人口の拡大等を目的とした女子野球タウンフェスティバルの開催は 10 月末開催を予定しております。それから、女子野球選手のプレー環境の向上に向けた球場内の内野のトイレや選手控え室、エアコンの設置や照明やラバーフェンス等大規模な改修を予定しているところでございます。以上で説明を終わります。

堀合副議長

それでは、『スポーツの振興』についてご質問、ご意見をどうぞ。

伊藤委員

予算が絡むと最初から言われると言いつらい話なのですが、実際予算が絡むことなので。話をしなければと思って話しますが、実は私の家の近くにはふれあいの森公園球場があります。総会を開く度に整備事業を何とかお願いしたいという話をしています。まとまった形で申し入れた形ではないのですが、もう公園球場自体もかなり古くなってきていて。何を言いたいかというと、そもそも皆さんご存じかどうか分かりませんが、まず有名校といえは花巻東高、それから富士大学、花巻東高の女子野球部、この 3 つを中心とした有名校が使用している球場にも関わらず、スコアボードと言えるようなスコアボードはない。それから放送設備もない。実は、そこで試合していることすら知らないという人もいたようですけれども、練習試合をしています。それなのにも関わらず、設備が整っていない。特に、私が言いたいのは周りが山に囲まれて松の木なんかもう倒れてしまって大変な状況の中にある球場になってしまって。だから、私は公園整備も含めて、ちゃんと野球ができる設備ぐらいはそろえてほしいと思って総会の度にお話した経緯があります。

それで、そういったところの背景を考えてみても、大谷選手をはじめ、有名なスポーツ選手が出る野球という位置づけの中で、花巻市はそれを軽んじているとかいう意味ではなく、ますます盛り上げるうえで北上と花巻に近い場所でもあるし、使用する方は有名校ばかりではなくて都市対抗に出るような方々も使っている、少年野球の人たちもちろん使っています。けれども、試合するにも審判控え室もない。放送設備もないという球場をもう少し普通の野球場として使用できるようなことにしていってほしいの

ではと思っておりますけれども、私の思いだけで終わるわけには
いかないと思いますので、少しそのあたりお話をお伺いしたい。

堀合副議長

確認したいのですが、伊藤委員のおっしゃる球場はどこの球場
でしょうか。

伊藤委員

ふれあいの森公園球場です。十二丁目にあります。皆さんだ
いたいそんな感じですね、知られていない。花巻東高や富士大学な
ど有名な選手がいっぱい出るような学校が使っている球場にもか
かわらず、正直言えば日頃から恥ずかしいと思っています。

奥山スポーツ振興
課長

ご意見、ご要望等ありがとうございます。総会のほうには私も
昨年、今年と出席させていただきましたし、これまでもいろい
ろとご要望を頂戴していることはお聞きしております。その都度
できる範囲での修繕、例えば入口のところを広くしました。その
ようなものを繰り返してきたところです。ただ、大規模な修繕とな
るとなかなかすぐにはできないというのが現状でございます。

ふれあいの森公園球場に限らず、市内にはたくさんの球場がご
ざいまして、J A L スタジアム花巻という名前がつけました花巻
球場以外にも、大迫・石鳥谷・東和にもございます。そのほかに
地区野球場もございます。そういったなかでふれあいの森公園球
場に関しては、整備当時から地元で全面的に管理していただい
ているところで、そういったところに場所柄もございまして花巻東
高あるいは富士大学、最近では花巻東高校の女子野球部が 80 名
程度までになっておりまして、そういった関係で最近多く使う
と。富士大学の野球部も 200 名ほどいらっしゃるそうです。その
ような関係でもしかすると少し一時的な部分もあるかもしれませんが、
利用が多くなっているという状況は十分承知をしております。

J A L スタジアム花巻の改修に関しても、これは今回 7 年度か
ら 9 年度まで 3 か年、国の地域未来交付金を使ってようやく大規
模な改修ができているというような状況で、これは長年の懸案事
項を少しずつ進めさせていただいているところになっております。

こういった様々な事業も活用しながら引き続き検討してまいり
ますし、老朽度調査をして緊急性の高いところから順次やってい
るという状況もございますけれども、そのなかで進めていくのと
同時に今の利用状況を鑑みながら、引き続き検討させていただ
きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

伊藤委員

悪いとは言わないけれども、なるべく地域も含めて皆が要望し
ているので。まず市長も変わったことだし、聞いてもらえたら
いいなと思っていました。

堀合副議長

はい。要望も含めてということでした。ほかにありませんでし

ようか。はい、菊池委員。

菊池清委員

菊池です。今のスポーツに関してですが、第4期教育振興基本計画25ページのところに、スポーツ振興について指導者が高齢化していると、団体運営を行う人材が少ないとあります。スポーツはすごく応援しているし、繁栄してほしいと思うのだけれども新しく入ってくる方がいないのか。どのように対策をしているかお伺いしたいと思います。

スポーツ指導者の育成を要望している小中学校の教職員や保護者、私も今小学校に関わっていて、そうすると野球やサッカーをやっている子どもたちがいるのですけれども、指導者というのは地域の方々など限られた方がお仕事を終えてから（指導）というケースが結構多い。自分の仕事をしながらそのようにされている。好きでやっている方もいるし、無理をしてやっている方もいるかもしれないので、指導者についてテコ入れというか、どのようになっているのかお伺いしたいと思います。

奥山スポーツ振興
課長

ありがとうございます。指導者の育成というところは非常に悩ましいところでございまして、先般策定いたしました花巻市のスポーツ推進計画、第2期の令和8年度から令和12年度の計画のなかでは「競技スポーツ指導者の指導力向上」の施策として、スポーツ協会、スポーツ少年団や大学などと連携し、スポーツ技術の習得のほか、スポーツ医・科学、栄養学などの知識を身につける機会づくりを継続的に実施し指導力向上を図るというような内容を挙げさせていただいております。

ただ、ご指摘いただいているとおりのテコ入れといいますか、具体的にどういうものをやればいいのか書かれているものではございません。もちろんスポーツインテグリティとか、そういった指導者向けの講習会などを様々な場面でやっていくということはしているものの、指導者の不足に対して抜本的な対応ができていないので、今後引き続き検討をさせていただきたいというのが、今の段階で回答できる内容となります。

堀合副議長
伊藤委員

菊池委員よろしいでしょうか。伊藤委員どうぞ。

関連して、小中学校の地域のなかでのスポーツ指導者の育成、学校の先生方も状況は大変だということはよくわかっています。それはそのとおりだと思いますが、今おっしゃられたような状況もある。

例えば、富士大学の学生の皆さん、大学自体に聞くべきと思うのですけれども、学生自身が市内の小中校生に対して何らかの形で指導できるような方法がないのか。そういったところはもうちょっと腹を据えて、取りかかってみてもいいのではないかという気がします。地域のなかにある富士大学の学生も、花巻市の市民

としてそういう形で（地域に）関わることができるということに、誰も反対とか嫌だという人はいないと思うのですよ。だから、もっと花巻市民としても、学生とともにそういうものに関わるのであって、すごくある意味で恵まれた状況も生まれてくるのではないかと。やっぱり、大学があつて良かったと思えるようなことが生まれてくるのではという、私なりの勝手な思いですけれども、そういう状況もあるのではないかと巷では話していますけれどもね。富士大学と花巻市の連携をもっとそういう形で深めていったらいいのではないかと。私は富士大学の先生方とも、コミュニティ会議を通じていろいろな提携を結んだりしながら活動自体やっているのですけれども、やっぱり実際に地域のなかでということになると、こっち（地域側）も戸惑ったりする部分もあるのですが、やはり大きく踏み出すということが大事ではないかという気がします。参考になるかわかりませんが、私の意見としては以上です。

菊池豊議長

富士大学ということで、私も若干関係していますのでお話をすると、大学も今地域貢献というのが求められていまして積極的に取り組もうとしています。ですから、大学のほうに例えば野球部の指導に学生が来てくれないかという要望をすれば答えてくれるのです。大学に対してですね、いろいろなポイント制度があつて、こういう活動は大学にとってもプラスですから積極的にはたらきかけてもらったほうがいいと思います。南城中学校に剣道部の学生が行って指導するなどそういう活動をしておりますので、ぜひはたらきかけていただきたい。敷居は高くありませんから、行つてお願いすればよろしいかと思います。大学も求めていますので、Win-Winで良い関係が出来上がってくるだろうと思います。

奥山スポーツ振興
課長

ありがとうございます。今、菊池議長からもお話があつたとおり、富士大学の学生さんも市内の部活動に来ていただいているという実際のケースもございます。ただ、あくまでやっぱり一部ということはそのとおりですし、今、剣道のお話がありましたが、大会によっては、富士大学には大会運営も含めて全面的に協力いただいて、むしろ大学生がいないと大会そのものが成り立たないという状況に今あるというところがございます。菊池議長からもご意見をいただきましたので、これまで以上に富士大学のほうにお声掛けをさせていただきながら、もう一点は地域クラブ活動、中学校の部活動の地域展開のなかでも大学との連携という話が話題に挙がつたようですし、大学のほうでもスポーツ健康科学部の開設予定をお伺いしておりますので、できるだけ連携を深めていくように努めてまいりたいと思います。

渡部委員

私は、東和町なので富士大学について学童も含めてなのです

が、大学生に夏休みや冬休み何かお願いしたいというときもあつたりします。中学校の部活となると、やはり移動手段がないというのがネックになります。花巻地域は潤うのかもしれないけれども、点在している東和であつたり大迫であつたり、石鳥谷はまだ4号線沿いだから良いのかなと。市内のなかでも高低差というか、使える場所、使えない場所という落差が出てくるのですね。できれば、その落差が少ない指導というか、大学生が活用できると周辺地域にも良い影響があると思うのでそこも含めて何とかお願いしたいと思います。

菊池豊議長

東和町のほうにも学生が出かけていって、様々な活動をしております。富士大学のほうにぜひ問い合わせさせていただいて、ボランティアとして協力してもらえないかということを声がけすると答えてくれるだろうと思います。

渡部委員

わかりました。ありがとうございます。

堀合副議長

私からです。今、大学生の指導のことが話題になっておりますが、中学校部活動の地域移行について今はどのような状況でしょうか。どのような段階に花巻市はあるのか、どなたか教えていただければと思います。

瀬川教育部長

それでは、教育委員会から説明いたします。中学校の部活動の「地域展開」と言っておりますけれども、はじめに地域連携・地域移行というところからスタートいたしました。学校部活動の指導者をまずは地域の方に（依頼する）というところと、それから部活動指導員、これは地域の方に大会などの引率などもしていただくというような形で部活動の「地域連携」というところからはじめまして、さらに地域クラブ活動というものもできております。これは、学校の部活動から切り離された地域でのクラブ活動であります。6月議会でもこのような進捗の質問がありましたけれども、具体的な数字を今日は持ち合わせておりませんが、学校部活動が地域移行・地域連携した割合でいうとだいたい66%くらい、そういった取り組みを進めてきているというような状況がございます。

今後さらに、こういった形を進めていくことを目指しておりますし、国のガイドラインでも将来的に子どもたちが継続して希望するスポーツや文化芸術活動に取り組めるようにと示されており、様々な受け皿をつくっていきこうということで進めていきたいと考えております。また、昨年12月には、国から認定クラブ活動という形式も示されております。これは地域クラブ活動について、さらに安全性や指導者の資質なども担保した形で市が認定していくことが示されているのですけれども、まだ花巻市ではそちらのほうに進んでおりませんが、今後その枠組みをつくると

いうことに取り組んでいくことを検討している状況にございます。

堀合副議長
藤井委員

ありがとうございます。藤井委員どうぞ。

私は青少年育成市民会議の所属なのですが、地域移行のクラブのことで、中学校のソフトボール競技で花巻ソフトボールクラブというものを立ち上げました。花巻市ソフトボール協会として地域クラブを立ち上げたのですが、学校間の連携や拠点校という形もあるのですが、学校の先生方が大変だということで協力は得るのですが、地域の協会がつくったクラブということであります。サッカーのほうでもつくっているようなのですが、そういう形でやらせていただいたのですが、女子のソフトボール競技は明日から中総体があり岩手県内には11チームしかありません。過去には、40チームとか60チームあったのですが、今はそういう状況です。そのなかでも、花巻は3つのクラブが参加するということで、3つとも県大会に出ることができます。東和中と矢沢中、それから花巻ソフトボールクラブということで、花巻ソフトボールクラブは湯本中学校を中心として花巻中学校と南城中学校の生徒が入っております。そういう形で、今から学校単体でクラブをつくるということは大変だと思いますし、それから指導者もなかなか大変なのですが、指導者も学校の先生ではなくて、きちんと資格を有した方で、きちんとしたポリシーがありますので。そういうところの研修を受けた方が指導するという前提でクラブ活動をしております。

それで、花巻市のほうでは、地域クラブをつくと学校の授業が終わってから集まるので保護者が送迎を18時頃から始めなければいけないのです。保護者が帰宅してからクラブに移動するとかそういうことだったのですが、教育委員会にはその点をすごく配慮していただきまして、地域クラブを行う屋外（競技の）クラブについては、照明使用料を減免するとか、優先的に練習会場を貸していただけるとか、学校施設を貸していただけるということで、岩手県のなかではそういう面で花巻市は進んでいると思っております。たまたまですけれども、明日から参加できる中総体のソフトボール競技でもそうなのですが、新人戦は8チームか7チームになるのではと噂があるのですが、そのなかでも花巻の地域クラブは14人が残って新人チームができるということでありますので、地域移行の形の一つの形態として、スポーツ競技団体が運営組織を持ってやっているという事例がありまして、それに対しては市にすごく支援をいただいていると思っております。以上、参考までに申し上げます。

堀合副議長

ありがとうございます。地域クラブが中総体にも出場できると

というのは励みですね、子どもたちにとっても。渡邊委員お願いします。

渡邊委員

部活動の地域展開の部分について、まさに中学校現場で管理職をしておりますので、状況等と市への要望というところで、少しお話をさせていただきたいと思います。

先ほど瀬川教育部長からも話がありましたように、花巻市については地域展開が県内トップクラスで進められている市町村だと感じているところです。ただ、そうは言っても花巻市の進め方とすると各学校の部活動が父母会と連携した形で、放課後に夜練習、父母会練習として取り組んでいた部分を、地域クラブ、地域連携型学校部活動として地域展開を進めているという形になっていますので、活動場所は学校。ただ、活動時間が夜という形で活動しているところが多いように感じておりました。

そうしたなかで、他県の状況等も聞くとやはり市町村のほうでイニシアチブを取って、今でいう地域クラブ、先程藤井委員からお話があった協会主催のクラブを立ち上げて、そこに多くの子どもたちがいろいろな学校から参加しながら、部活動、スポーツ活動等に取り組んでいくという形が望ましいと思う反面、学校現場からすると中学生は16時くらいまで学校で授業を受けます。そうなったときに、活動が始まるのが早くても18時、遅い地域クラブですと夜19時からということもあるわけです。そこから平日は2時間程度の練習となりますと、夜21時くらいまで練習しているというところもあるわけです。中学生はその後帰宅して、宿題をやって寝るとなったときに、果たしてその時間帯がいいのかということも考えていかななくてはならないですし、先ほど東和町のお話もありましたが、地域差もあろうかと思います。文部科学省やスポーツ庁で進めている地域展開のイメージというのは、放課後子どもたちが地域で公共交通機関等を使って移動できるイメージなのだろうと思っていますが、例えば花巻市においては保護者の送迎が絶対だとなっていくと、やはり夕方以降からの活動がメインになっていってしまう。そういうことも考えていったうえで、花巻市として地域クラブをどのような形で立ち上げていって、そこにいろいろな学校の子どもたちが自分の力で参加して活動することができるということを、少し将来的なビジョンを持ちながら教育委員会だけではなく、生涯スポーツのほうでも連携しながら考えていただいて、地域の方たちと一緒に進めていく必要があるだろうと思います。

そうやってきたときの指導者の問題も、どうしても今の形ですと、普段は別のお仕事を日中されていながら、ボランティア的に夜指導していただくという形になってしまうかと思います。どう

しても、中学生の授業が終わった 16 時から 18 時という時間帯はなかなかお仕事も手が離せない。その時間の指導をどうするかというあたり、先程から出ていますように大学生の力を借りるとかそういったことを市として制度として整えていっていただくと花巻市小中学校のスポーツ活動の振興をどのようにしていくかにつながっていくと思いますので、今どうこうなるものではないと思いますが、少し大局的に長い目でそのあたりのビジョンを持って取り組んでいただけると、学校現場とするとありがたいと思いました。

堀合副議長

ありがとうございます。よろしいでしょうか。授業との両立もどうするかということは、クラブだけの問題ではないし学校が判断することでもない。少なくとも市教委単位で方向性を示してもらえればということですね。ありがとうございます。

菊池豊議長

地域スポーツに移行してくるということですが、今まで学校で取り組んでいるときは週 1 回休日を置いてやっていたのですが、練習時間が短い。そうすると、土日に休みを入れてやれるのかとか、そういったような健康上の心配もされることがありますよね。

それから、家に帰るのが結局 21 時頃ということになってくると、果たして学習との両立が成り立つのか。以前から花巻の児童・生徒の学習時間平均は実は非常に少ないですね。一番学習時間が長いのが小学校 4、5 年生でしたね。それから、上の学年はどんどん少なくなって、高校になると本当に 30 分以下や 0 分というものがもう 7、8 割ぐらいになってしまうと思います。児童・生徒の学習時間も同時に確保できるように考えながら進めていかないと、かえって負担が大きくなって学校教育にそのしわ寄せがいつてしまうのではないかと。心配というか意見です。

事務局（菊池生涯学習課長補佐）

先ほど、佐藤委員が帰られましたが、最後にこちらに要望という形でメモをいただきましたので少しご紹介したいと思います。よろしいでしょうか。

佐藤委員からは「中学校の部活動が社会体育に移行するにあたり、活動場所等の支援をお願いしたい。それから指導者に対する講習、インテグリティ研修等をお願いしたい。」というご要望をいただきました。

伊藤委員

渡邊委員にお尋ねしたいのですが、今までクラブ活動を一生懸命やってきた先生たちだっていますよね。（クラブ活動に）関わって、先生らしく自分なりによかったと一生を終えられた方たちもいっぱいいると思うのだけれども、それが今の時点で学校から切り離れたほうが良いとならざるを得ない事情は分かるのだけれども、何のために教師になっているのかというところ。働き方改

革だけで一方で決められる問題ではないと思うので、先程渡邊委員がおっしゃったように長いスパンで考えていかなければならない。ただダラダラ長くするのではなくて、(地域展開) だってやるべきことはやらなければならない。しかし、議論の中身と期間、いったいどのような形で進めていったらいいのかというところまできちっと示されないと。今まで(クラブ活動)に関わってきた先生たちは、何のために携わってきたのかと思ってらっしゃるのではないかと私は正直思うのですが。いかがでしょうか。

渡邊委員

そこについては、もうまったくそのとおりだと思っております。私自身も部活動をするために教員になった教員の1人です。若いときには本当に部活動をするため、学校へ出勤していたと思っております。同じように考えている教員もまだ多くいるということを私は把握しているなかで、教員のやりがいという部分と、あとはその働き方改革ということで。あとは子どもたちに専門性を身につけさせるというか、適切な指導をしていくという部分。様々な部分の要素がありますので、国のほうでもそのあたりを見越して移行期間を設けておりますし、県、そして花巻市のほうでも期間を経て現在に至るところですので、実際私たち花巻市11校の中学校がございますが、各中学校で地域展開を徐々に進めながら、そのあたりの議論を各学校で教員等としながら進めている状況にあるというところですよ。

堀合副議長

はい、高橋委員どうぞ。

高橋典人委員

高橋です。元中学校の社会科の教員です。先ほど言われましたように、なぜ教員になったのかと聞かれますと、別に私は部活をやりたくて教員になったわけではなくて、人をつくりたいと思って教員になりました。そのとき一番困ったのは部活です。なぜかという、私は高校で卓球しかやったことがありません。最初に持たされたクラブはバレー部です。その次にバスケットボール、ソフトテニス、柔道、スキー、合唱、吹奏楽、まったくやったことがないものをやらされました。もう四苦八苦して青ざめて、特に運動部の場合、4月に行けば3年生から何も知らない先生が何を教えてくれるのだと。でも、一緒に見せられるところから、本を読んでビデオを見たりして。何とか教えられるくらいになりたいとは思わなかったけれども、足を引っ張らない程度にはやりたいと思って。私たちの年代の教員は皆そうですよ。だから、今のうちに、これからは多様性で学校から部活動は切り離されるという話になれば、我々の努力は何だったのかとなります。

ですが、やっぱり子どもたちは上手になりたいのです。チームに入ったら選手になりたいのです。そうなったときに、それを伸ばしてあげられないということは、教員として一番悔しいです。

そうであれば、地域へ移行したほうが良いということがおそらく先生方の考え方となります。以上です。

堀合副議長

いろいろなご意見が出されました。それでは、大変申し訳ございませんが進めさせていただきます。『芸術文化の振興』が残っておりますので、説明をお願いいたします。

事務局（高橋生涯学習課長）

生涯学習課の高橋でございます。資料1『芸術文化の振興』と左側に書いてある資料について、ご説明させていただければと思います。着座にて説明させていただきます。

「1. 芸術文化活動の推進」という施策の分類になっております①芸術文化推進事業でございます。小学生のためのアートセミナーについては、児童の創作意欲を引き出すテーマを設定し実施する予定で、8月に型染め体験を行う予定としております。市民芸術祭につきましては、今年度も計画どおり事業実施を目指しております。花巻市民芸術祭花巻地区展示部門の開催に合わせて、市民団体の舞台発表やキッチンカーなどを設けまして、賑わいを持たせながら開催したいと考えております。

②芸術文化振興事業でございますが、こちらは現在文化会館が改修工事による休館中でございますが、10月30日から再開する予定としております。こちらにつきましては、資料のほうに記載されておりますが大ホール公演等につきまして、コンサート等鑑賞のほか地域共演を積極的に実施したいと考えております。

また、好評いただいておりますバックヤードツアーなど、実体験のプログラムを提供するほか、引き続きグラウンドピアノの無料開放を実施するなど、継続的に開放していきたいと考えておりますし、大ホールの音響体験映画上映会などホールの特色を活かした事業を継続的に実施していきたいと考えております。

なお、現在工事期間中で休館となっておりますけれども、学校のアウトリーチ活動ということで、文化会館の職員が芸術家の方々と直接、学校の方に赴きましてプロの音楽を親しむ体験を提供しております。

③学校文化活動事業ですけれども、こちらは小中学校の作品展示に合わせて市内小中学校の吹奏楽部などの舞台発表の場を設けまして、児童生徒の文化活動を幅広く市民に公開する機会を提供することとしております。

めくっていただきまして、2ページ目になります。

⑤美術普及活動推進事業と書いてありますが、こちら④美術普及活動推進事業となります。④ということでご修正いただければと思います。美術普及活動推進事業につきましては、こちら萬鉄五郎記念美術館の事業でございますが、郷土の先人である萬鉄五郎を顕彰する事業といたしまして、市民の芸術文化に対する関心

や親しみを向上させるため美術活動に取り組む機会として、萬鉄五郎祭や児童等の写生会、展示会を実施いたしております。

そのまま、「2. 先人の顕彰」に進みたいと思いますが、こちら番号が②からとなっておりますが、①に修正いただければと思います。①先人顕彰推進事業につきましては、昨年度から開催館を4館といたしまして、各館に足を運ぶ契機となるような展示会を引き続き開催したいと考えております。

大竹賢治まちづくり課長

それでは、2ページの下のほうにございますがこちら②宮沢賢治普及・啓発事業につきまして、賢治まちづくり課の大竹よりご説明申し上げます。恐れ入りますが、着座にてご説明いたします。

こちらには、宮沢賢治イーハトーブ館の事業を記載してございます。3月の時点から期日等見直しがございましたので、そこを赤字で修正してございますが、まずはこのように4つの企画展を実施することとしております。ただ今、開催しておりますのは「宮沢賢治童話の森写真展」ということで、8月31日まで開催してございます。以降④の企画展まで行ってまいります。

3ページ目をご覧いただきたいと思います。直近でございますが、夏季セミナーとしてテーマ「みんなでつくるボランの広場」ということで、7月25日にイーハトーブ館で開催いたしますが、こちらはどなたでもご参加いただけます。ご興味のある方につきましては、会場はイーハトーブ館となっていますのでぜひ足をお運びいただければと考えてございます。

また、令和8年度の重点のほうに先にまいりますけれども、ただいま申し上げましたようなセミナーの開催につきましては、対面、それからオンライン等を併用いたしまして、多くの方が参加できる環境づくりに取り組みまして、イーハトーブ館の目的であります広く学術及び文化の発展に寄与することを目指してまいりたいと考えてございます。

次でございますけれども、今年度は宮沢賢治生誕130年という節目の年に当たってございます。こちらにつきましては、賢治さん、それから賢治さんの故郷である花巻市を広く市内外に発信いたしまして、交流人口の拡大と賢治作品の普及につなげるために5月に実行委員会を組織いたしました。市と宮沢賢治学会、それから賢治関係団体等が実行委員会を組織いたしまして、宮沢賢治生誕130年の記念といたしまして、第5回国際研究大会を開催いたします。一つ上の欄にございますけれども、こちらは11月1日から3日まで開催することとしておりまして、駅前のなはんプラザを会場に行うこととしております。こちらにつきましても、どなたでもご参加いただけるということで現在企画を進めてござ

います。オープニングにつきましては、市内の小中学生や高校生といった方々もアトラクションとして賢治の詩の朗読、あるいは合唱でご出演いただきますし、また記念講演等も開催する予定としてございます。ぜひ、ご興味のある方はご参加いただければと考えております。こちらについて、もう少し詳細が決まりましたら、広報あるいは新聞等報道関係も含めて皆様方へ情報提供してまいりたいと考えてございますので、よろしく願いいたします。

宮沢賢治生誕 130 年につきましては、また後段でもお話させていただきますので、一旦次の説明に移ります。次は、③宮沢賢治イーハトーブ館改修事業ということでございます。こちらご存じの方もいらっしゃると思いますけれども、蛍光灯の生産が国際条約の関係で打ち切られるということでございますので、照明のLED化を図るということで、今年度は設備更新業務を進めてまいります。以上です。

事務局（高橋生涯
学習課長）

次の④企画展示事業につきまして、私から新渡戸記念館と萬鉄五郎記念美術館事業の説明をさせていただきたいと思います。着座にて失礼いたします。

新渡戸記念館でございますが、特別展、企画展をこちらに記載しておりますとおリ準備しております。このように企画展を開催するとともに、引き続き団体見学もしくは出前教室等の開催を市内小中学校へ働きかけまして、花巻における新渡戸家並びに新渡戸稲造の魅力を発信してまいりたいと考えております。

次にめくっていただきまして、4 ページ目の上段、萬鉄五郎記念美術館でございます。萬鉄五郎記念美術館につきましても、上段のとおり 4 つの企画展、展覧会と申しておりますが準備しております。こちらにつきましては、美術館が企画展示事業及び関連事業を展開して、参加・鑑賞の機会を提供させていただくことで、芸術文化に関心や親しみを感じる市民を増加させていきたいと考えておりますし、引き続き萬鉄五郎、親子向け、花巻の美術家を紹介する展覧会を行い、バランスのとれた展示を行ってまいりたいと考えております。以上でございます。

伊藤博物館副館長

続きまして、博物館の事業についてご説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

博物館では企画展としまして、年 4 回計画してございます。花巻の歴史や文化を紹介するもの、また国内外の優れた美術品や展示物を紹介するような企画展ということで、テーマを設定させていただいたところです。

現在は、花巻の工芸をご紹介します「つくり、つたえる 花巻の工芸」を 8 月 30 日まで開催中です。鍛冶町焼、台焼、成島和紙、

花巻傘、ホームスパン、南部系こけしの紹介をしておりますので、ぜひ博物館においでいただきたいと思います。

また、展覧会活動にあわせまして、館長や学芸員などが講師となつて行う講座、それから子どもや一般の方を対象とした体験型ワークショップ、制作体験などの講座も開催してございます。小中学校に学芸員が出向きまして、昔の暮らしをテーマにした授業などを行う講座なども引き続き取り組んでまいりたいと思っております。以上です。

堀合副議長

続けます。生涯学習に関連する事業の説明をお願いいたします。

事務局（高橋生涯学習課長）

生涯学習課の高橋でございます。私から「1. 芸術文化活動の推進」の文化会館施設改修事業についてご説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

文化会館の改修事業につきましては、4ページ下に記載しておりますとおり、昨年度に引き続きまして、老朽化した受変電設備や照明設備の改修工事、トイレの洋式化改修工事を行うほか、屋外排水設備の勾配不具合の改修、大ホール客席天井安全対策の工事、耐用年数を超えました自動火災通報報知設備の更新改修に向けた実施設計を行いたいと思っております。

また、経年劣化した赤いカーペットでございますが、今年度改修工事を行いまして10月30日の再開からは、きれいなカーペットでお迎えできるよう準備を進めているところでございます。以上でございます。

大竹賢治まちづくり課長

それでは、次のページ「2. 先人の顕彰」①賢治のまちづくり推進事業につきましてご説明を申し上げます。

①賢治のまちづくり推進事業でございますが、まずこちらに事業一覧で載せてございますけれども、これらにつきまして、先程宮沢賢治生誕130年と申し上げましたが、そういった冠をつけて実施していくということで考えているものでございます。

賢治セミナー等講座の開催、それから宮沢賢治賞・イーハトーブ賞につきましては、賢治さんの命日の次の日9月22日に贈呈式を行うこととしております。宮沢賢治記念館の特別展ですが、現在は「猫とねずみのはなし」を9月27日までということで、直筆原稿も展示しながら行っております。それから③④が「セロ弾きのはなし」ということで予定してございますが、これに関連いたしまして次の宮沢賢治生誕130年記念事業といたしまして、記念館が所蔵している宮沢賢治のチェロと妹トシのバイオリンで奏でる弦楽四重奏を来年3月6日に文化会館大ホールで行ってまいりたいということで企画をしております。こちらも詳しいことが決まりましたら告知してまいりたいと考えてございま

す。

それから、宮沢賢治創造芸術公演といたしまして、オーケストラを呼んで来年2月20日に、こちらで文化会館で公演を行う予定としてございます。花巻市の子どもたちとの交流の場等を設けてまいりたいと考えてございます。

賢治フェスティバルでございますが、こちらにつきましては童話村の森ライトアップが明日からということで10月31日までの会期で行ってまいります。土曜日、日曜日、それから祝日のように季節によって開始時間は異なりますけれども、これを10月31日まで行ってまいります。

イーハトーブフェスティバルの期日が赤書きとなっておりますが、当初予定したときより開催日がずれて8月22日・23日ということで、今年度につきましてもホームページで告知しておりますが、スタジオジブリの鈴木敏夫プロデューサー、音楽ライブには大塚愛さんなどがご出演くださるということにしておりますので、ぜひ皆様方にもお越しいただきたいと考えてございます。

それから、例年行っております賢治アートストリート、賢治イベントカレンダーの発行、こういったものも活用しながらPRを行ってまいります。

そして、重点でございますが、今申し上げたような生誕130年を記念いたしまして各種事業を行ってまいります。なお、市だけではなくて民間レベルでも生誕130年記念ということで事業を行っていただいておりますので、そういったものは当市のホームページで情報提供を行ってございます。

それから、今申し上げました童話村の森ライトアップですが、昨年度は残念ながら秋にクマの関係で中止した経緯がございましたが、今年度はそういったクマ対策も兼ねて電気柵を童話村に設置いたしました。何とかそういった新たな対策も行いながら、今まで行ってきたクマを寄せ付けない対策と並行して、来場者の安全を確保し開催してまいりたいと考えてございます。様々な場面を捉えまして、宮沢賢治生誕130年を盛り上げてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それから、②宮沢賢治童話村整備事業でございますが、童話村につきましては、宮沢賢治生誕100年の平成8年に開所した施設でございます。開所から30年経過し、様々な老朽化等により施設に不具合等が出ており、リニューアルを考えたいということで予算措置してございます。今年度につきましては、プロポーザルにより知見のある業者から改修方法のご提案をいただき、その中で最も良いと思われるものを選定のうえ、童話村改修について基本構想・基本計画を策定し、改修に向けて方向性を定めてまいり

事務局（高橋生涯
学習課長）

たいと考えているところでございます。

続きまして③企画展示事業、高村光太郎記念館の事業になります。最終ページ6ページ上段になります。

高村光太郎記念館につきましては、記載のとおり「光太郎と岩手の芸術家」という形で、展示会及び関連講座を開催予定としており、光太郎と交流した岩手の芸術家について関連資料とともに紹介してまいりたいと思います。また、これに伴い来館するきっかけとなるような企画となればと考えております。

佐藤総合文化財セ
ンター所長

それでは、最後になります、総合文化財センターになります。

今年は、企画展を3件行います。現在、行っておりますのは「早池峰・花の百名山」、次が「早池峰神楽」、それから遺跡についての企画展となります。

変更点として、赤字となっておりますが、新しい体験講座・学習ということで、組紐ストラップを制作するワークショップを立ち上げて今年25日開催する予定となっております。説明は以上となります。

堀合副議長

それでは、『芸術文化の振興』について、一括してご質問、ご意見等をお聞きしたいと思います。

はい、福盛田委員どうぞ

福盛田委員

福盛田と申します。

1つ目について、今年も11月1日から3日まで市民芸術祭が開催されますが、そのなかでチャレンジライブ、これは項目にないようですけれども、継続して大ホールで実施する予定でよろしいでしょうか。

2つ目は博物館に関してですが、博物館のほうでいろいろな講座がありますよね。館長講話だったり、学芸員の講座だったり。その定員は20名なのですよ。その20名という人数の割り方というか、決め方がちょっと腑に落ちないのです。長机に2人ずつ座っての20名なのです。コロナ禍であればしょうがなかったのですが、現在30名位は座れるような席となっている。ですが、もう定員20名、先着順で応募したときは既に締め切っていると断られる。せっかくの講座ですので、そういったところを定員30名程度へ戻せないものか、なぜ20名の定員なのかそのあたりも伺いたいです。

あと、3点目です。今、文化会館について改修工事をしていますが、中ホールエントランス天井の照明はどのように改修されますか。今まで、市民芸術祭のときには展示コーナーとして写真展などやっておりましたが、照明が暗くてだめでした。そのあたり要望していたのですが、LEDに替えたことで改善されるものか伺いたいです。予算措置はされているのか、改修はせず

暗いままなのかについて伺います。

堀合副議長

はい、チャレンジライブが市民芸術祭に含まれるのか。博物館講座の定員 20 名の根拠、それから、中ホールエントランス天井の照明について。

事務局（高橋生涯学習課長）

私のほうから 1 点目と 3 点目について、ご回答させていただければと思います。1 点目のチャレンジライブを市民芸術祭で開催するのかという部分につきましては、こちらの資料には記載しておりませんでした、例年どおりであれば実施する予定としております。

3 点目の文化会館の照明につきましては、基本 LED 化はすることとしておりますが、福盛田委員がおっしゃった部分までするかどうかにつきましては、仕様やイベント等の関係もあって、はっきり明るくするかどうかについては今お答えができない状態でございます。福盛田委員もおっしゃるとおり、展示会等々によっては必要な場合もございますが、それ以外のイベントには、暗くする調光も必要となってまいりますので、その部分をふまえて作業を進めている段階でございましたのでご理解いただければと思います。

堀合副議長

博物館からお願いします。

伊藤博物館副館長

博物館の（講座の）定員の件ですが、少し余裕を持って今 20 名ということで設定させていただいているところですが、もっと（席の間隔を）詰めれば 30 名入るのではということについては確かにそのとおりですので、今後（定員）を増やす方向で検討させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

堀合副議長

そのほかに。伊藤委員、どうぞ。

伊藤委員

この間、ある局で放送されたドラマを見ていたのですが、見ているうちに宮沢賢治と関連しているのではと思って見ておりました。簡単に言えば、政界を追われた元秘書とスナックのママが知事選に挑むという奇想天外な内容だったわけですがけれども、このドラマ作品を見ているうちに、賢治さんの「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」だとか、いわゆる賢治さんの世界観みたいな言葉がドラマ化されていた。ご覧になった方もいらっしゃると思います。そこで、私が感じたのは、賢治さんのそういう世界観や哲学、（賢治さんは）どのような人間だったのか、何を言いたかったのかを考えたときにこのドラマを見て、こういうふうには賢治さんの世界観がドラマ化されていくのだと改めて感心したのです。何かというと、このドラマは政治ドラマでもあったような気がしたのですよ。いわゆる、都知事選に立候補という話、でもそれは結果的に本来政治というのはそうあるべきではないかということ、賢治さんの作品を通じてあるい

は賢治さんの考えを基にドラマ化されたということが何となく伝わってくるような話でした。やっぱり、賢治さん（の世界観）というのは今まで百何年も賢治さんを通じて、全国あるいは世界に広まっている。

実は、私は賢治さんの詩碑の近くの駐車場、その向かいに同心屋敷という（建物）のがあるのですが、そこで湯茶サービスを行っています。全国からいらっしゃる方向けに土日湯茶サービスをやっているのですが、そうするとやっぱり詩碑を見た方、あるいは詩碑を見る前に寄ってくださる方がいらっしゃって、お話しされることは「宮沢賢治」に関することです。同心屋敷にも関わらず、お話しされていくのは賢治さんの話。つまり、やはり賢治さんにはそのようなファンの方が本当にいるのだなと。私はこれまで花巻に住んでいて、今まで「賢治さん、賢治さん」と言われても、なぜそこまで思っていたのですが、実はそういう体験を通じて初めて、いろいろな方が様々な見方、いろいろな想いで賢治さんのことを見ているのだとすごく感じたわけです。

ところが、その賢治さんの詩碑がある場所で、大竹賢治まちづくり課長にもお話しましたがトイレが暗く、汚く見える。観光客からも直接言われたことなので、お話をさせていただきました。簡単にそれを改善するというわけにはいかなかったようですが、花南地区コミュニティ会議でも要望したところ、市に受け止めていただいて、それが改善する方向に向いたということで、これは非常に良かったと思っております。今後とも1つよろしくお願いしたいと思います。以上です。

堀合副議長

はい。今の（ご発言）は感想というか感謝ということで。それでは、菊池清委員お待たせしました。

菊池清委員

すみません。前にもお聞きしたことがあります。非常に抽象的なお話で申し訳ないのですが、実は第4期花巻市教育振興基本計画にも書かれていることなのですが、これは別に芸術・文化に限ったことではないのですが、情報の提供方法とか日程について工夫を求められているというふうな記載があるのですね。何を見ても情報提供、情報提供と言うのだけれども、やっぱり今ある案内は「市のホームページを見てください、市の広報を見てください」というのがまず主だと思うのです。

先日、市からある文書が届いたときに「二次元コードを読み取って確認してください」という案内がありました。みんながみんなホームページを見る環境にない、二次元コードを開くことができるわけではないということを考えると、どういう情報の提供方法が別にあるのだろうと。以前のように、いちいち紙ベースではなくなくなってきていて、誰でも見ることができる、わかるような提

供の仕方がないものかというふうに考えております。実は、こういうふうにたくさんいろいろな催し物を計画してくださって、すごくみなさんが発信していると思いますが、実は届いていないほうが多いと日頃感じています。でしたら、課は越えるけれども年間スケジュールについて判明している分だけで良いので、見ることができるものがあると良いと思います。課を越えるので非常に厳しいと思うのですが、やはり周知する、情報提供するというのであれば、もう少し踏み込んだものがあればいいといつも思っております。

堀合副議長
菊池清委員

1つのことに限らず、市全体としてということでしょうか。

例えば、芸術だったら芸術だけでも少し絞ったもので、こういう（催し）のがありますよとスケジュールがあれば、「この催しに行ってみたい」となるのかなと思ったりするわけです。

堀合副議長

広報や賢治関連のイベントカレンダー以外に、ということでしょうか。

菊池清委員

あとは、「詳しくは、ホームページをご覧ください」で終わってしまう。ホームページに行きつかない環境の方も周りを見ていると結構いるので、そうなるとそのような方たちは多分（情報）を知らない。広報をしっかりと見ている方を前提としても、多分足（移動手段）がないから行けないという方がいっぱいいるのだろうけれど、そういうことはさておいても、すべて（情報）を知ることができることは、行く・行かないに関係なく必要と思っています。周知するというのであれば、もう少し目に触れるものがあれば嬉しいと思います。

事務局(高橋生涯学習課長)

ご意見ありがとうございます。今回の広報だったと思いますが、まず課を越えてという部分であれば子ども対象となりますけれども、生涯学習施設や博物館、関係施設のイベント情報を今回まとめさせていただいております。

また、菊池委員がおっしゃるとおり、情報提供の方法はどうかという部分につきましては、私どもも試行錯誤させていただいておりますが、先ほどご説明した世代やターゲットという部分でいうと、広報はある程度市民の方に見ていただけるものと理解しておりますので、集中的に掲載したいと思いますが、やはり紙面に限りがございますから、市のホームページへという考え方になってしまう部分につきましては、引き続き検討させていただきたいと思います。あと、若い世代に対しては、SNSを活用させていただく一方、SNS等を見ることができない世代に対して広報等というような分け方をして、周知していきたいと考えております。私どもも勉強させていただきたいと思いますので、委員の皆さんからも引き続きご意見を頂戴できればと思っております。

堀合副議長
菊池豊議長

よろしいでしょうか、そのほかございませんでしょうか。

毎回、言ってるのですが文化会館の改修について期待していたのが中ホールです。何とかならないものか、使いづらいですよ。ステージも（高さ）が高い。もう少し、中ホールがうまく改修されれば使い手のある施設だと思うのです。大ホールになると、さらに1,000人規模の大会場になってしまいますから、こういった生涯学習のうえでの発表とか学習という面では、中ホールのほうが発表しやすいだろうと思います。ぜひ、そのあたりも含め中ホール改修について検討をよろしくお願いしたい。

事務局（高橋生涯
学習課長）

ご意見ありがとうございます。文化会館の改修につきましては、やはり年数が経っている建物ですので、優先順位をつけながら継続的に直していきたいと思っており、ご理解いただければと思います。

菊池豊議長
事務局（高橋生涯
学習課長）

今のところ、中ホールは何か（改修等）予定しているか。

現状、中ホールの改修という部分につきましては考えておらず、安全性や利用度を優先させていただいていると考えております。

菊池豊議長

以前、新図書館の複合施設化を検討していた際、300～400人程度収容できる中ホールを1階につくことで進んでいたが、図書館のみになってしまった。私としては残念だと思っており、今ある施設であれば、やはり文化会館の中ホールを、何とか使い勝手良く改修していただきたい。

堀合副議長
菊池豊議長
堀合副議長

これについては、もう決まった部分を改修している。

次の改修で検討をお願いしたい。

この次で、ということですね。それでは時間も過ぎております。（1）令和9年度の生涯学習・社会教育事業については、以上とさせていただきます。議題の（2）その他について、皆さんのほうで何かございますでしょうか。はい。それでは、本日の議題についてはこれで終了とさせていただきます。ありがとうございます。事務局お願いいたします。

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

菊池議長、それから堀合副議長議事進行大変ありがとうございました。

それでは、続きまして、こちらのほうに進行を代わりまして進めさせていただきます。次第の（4）その他に入らせていただきます。はじめに、教育委員会教育部長からお伝えしたいことがあるということでしたのでお願いいたします。

瀬川教育部長

はい、それでは教育委員会からです。まず、委員の皆様へ第4期花巻市教育振興基本計画をお配りさせていただいております。こちらは本年5月の教育委員会議会の議決を得まして策定をしたところでございます。

この計画の策定にあたりましては、社会教育委員の皆様方に、社会教育それから生涯学習に関することのみならず、学校教育、それから就学前教育など教育全般にわたり、たくさんの貴重なご意見をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

この計画では、本市の教育分野における目指す姿といたしまして、「学びからつむぐ笑顔と豊かな心」としておりまして、就学前教育と学校教育の接続、それから不登校児童生徒と学校や地域とのつながりですとか、本日様々ご意見をいただきました部活動の地域展開、それから地域での学びと活動の循環など、あらゆる学びの場において、「つなぎ、つむぐ」取り組みの更なる充実ということに力を入れていきたいと考えてございます。

そして、学びをとおして、あらゆる世代の市民が豊かな心を育み、活力あるまちづくりにつながるよう、この計画に基づきさらには実行計画を作り、また、PDCAサイクルでの評価をしながら具体的な取り組みを進めてまいりたいと思いますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いしたいと思います。本当にありがとうございました。

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

ありがとうございます。それでは、その他本日お配りしてます資料について若干ご案内をしたいと思います。

まず、はじめに通知の形式で「配布書類について」ということで、添付しております書類をご紹介します通知になります。

1つ目が、一般社団法人全国社会教育委員連合が発行しておりますニュースレターNo. 30 というものです。

続いて、「社会教育委員必携」の案内チラシです。お求めになることもできますが、生涯学習課でも一冊買って準備してございますので、ご覧になりたいという方がいらっしゃいましたら、お声がけいただきたいと思います。

全国社会教育委員連合機関誌「社教情報第95号」の購入申し込みのチラシです。こちらは欲しい方がおりましたら、お知らせいただければお申し込みできるというご案内でございます。

続きまして、「令和8年度生涯学習事業計画」ということで生涯学習課や石鳥谷生涯学習会館、それから各総合支所の地域振興課でやっております生涯学習事業の計画を載せているものということになります。たくさんございますので、後ほどご確認いただければと思います。

そして、もう1つ「生涯学習事業計画」ということでA4横長のものをつけてございますが、こちらは各コミュニティ会議で計画しております生涯学習事業一覧をつけております。全27コミュニティ会議の事業を載せているということになります。

A5判、「資料の提供方法について」と簡単な用紙になりますけれどもつけております。こちらの資料の提供方法についてですが、県の社会教育連絡協議会からのお知らせをお送りする際、通常は郵送でお送りしておりますが、電子メールでの受け取りを希望される場合はお名前と電子メールアドレスをご記入いただきますと、郵送ではなく、事務局から電子メールでご案内させていただきます。なお、社会教育委員会議の開催通知等につきましては従来どおりで郵送でお送りいたします。電子メール希望の方がおりましたら、お帰りの際にメールアドレスを頂戴できればと考えております。

それから、最後になります。もう1つ通知をつけておりましたけれども、「第48回全国公民館研究集会、令和8年度東北地区社会教育研究大会、第71回東北地区公民館大会の開催について」というご案内通知を添付しております。今年度の大会は、10月末に秋田県秋田市を会場に開催されます。大会の研究主題は「多様な学びを通じた地域共創の実現～地域の持続可能性と幸福度向上に向けて～」となっております。記念講演や4つの分科会などが開催されます。詳しくはパンフレットなどつけておりましたので、ご確認いただければと思います。すべての委員の皆様にご参加をいただきたいところですが、お2人分までの予算を確保しております。早いもの勝ちになるかもしれませんが、ご興味のある方はぜひお申し込みいただければと思います。

事務局から以上となります。その他、皆様から何かございましたらばお願いをいたします。

高橋福子委員

すみませんが、確認をしたいことがあるのですが、私たちが今日検討したのは「第3期花巻市教育振興基本計画（3）生涯学習の推進」のなかの社会教育に関する事業を検討したのですが、今日いただいた（市の）生涯学習事業計画を見ると、⑬に社会教育・生涯学習の別とあって、石鳥谷総合支所地域振興課のりんごに関する事業のみ社会教育に該当している。これはどういうことでしょうか。社会教育は広い意味で生涯学習に含まれると思うのですが、例えば市民講座の中でも意図して地域課題、例えば去年はクマの講座とか結構ありましたよね。去年の課題で講座の中のメニューとして入れたのであれば、生涯学習と社会教育、どちらにも該当するのではと思うのですが。ほとんど全部が生涯学習となっている。でも、私たちは今日社会教育に関する事業の検討をしたので、少しわからなくなってきた。定義をよろしくお願いいたします。

事務局（菊池生涯学習課長補佐）

はい、先ほどご質問がありました我々が行っております生涯学習事業一覧のなかの、社会教育と生涯学習の立て分けというところ

ろになります。確かに、ほとんどが生涯学習に該当としている状況ですけれども、社会教育として我々のほうから、例えばシニア大学であったり、女性学級や市民講座であったり、行っている形のものもございます。これらの講座は社会教育と生涯学習、どちらにも該当するのが本来と考えておりましたので、次回以降こちらの部分につきましては、我々のほうでもしっかり立て分けができるように考えた上で、皆様にお見せできるような形にしていきたいと思います。我々のほうでも、確かにそうだということもございますので、少し整理させていただきたいと思います。大変ありがとうございます。

高橋福子委員

小国委員からは、社会教育と生涯学習を分ける必要はあるのか、というお話もありました。

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

はい、そのあたりも含めて検討いたします。

5 閉 会

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

その他、何かございますでしょうか。ありがとうございます。時間も少し押してしまいまして、最後に多く説明いたしました、大変申し訳ございませんでした。

それでは、特にはないようでございますので、以上で令和8年度第1回花巻市社会教育委員会議ということで終了したいと思います。皆様、大変お疲れ様でございました。ありがとうございます。